令和７年度（2025年度）「地質調査技士登録更新講習会」報告

技術委員会

令和７年度の東北地区の地質調査技士登録更新講習会は、令和７年11月14日（金）に「フォレスト仙台」で開催されました。

登録更新は、①登録更新講習会により更新する方法と、②CPD記録報告による更新の方法があります。今年度東北地区では講習受講者189名（CPDによる更新者は18名）でした。

講習は、令和６・７年度版テキストの内容に従って第Ⅰ編から第Ⅳ編の４つの講義が実施されました。第Ⅰ編の「地質調査業について」では、「地質調査の領域」「地質調査業の市場動向」「入札・契約に関わる諸制度」「地質調査業をとりまく新たな社会・技術動向」「地質リスクマネジメントの概要と今後の展開」「地質情報の電子化・利活用に関する動向」「産業としての事業活動」について説明がなされ、業界を取り巻く環境の変化と入札・契約制度及び個別制度の変遷について説明がありました。また、トピックスとして「13歳のハローワーク公式サイトへの地質調査業の掲載」「国土交通省諸経費率等の改定、データプラットホームのアップデート」「BIM/CIM活用業務・工事件数の推移」「情報共有システムとオンライン電子納品の活用」「新たな時代の地質調査業アクションプラン2023」について紹介がなされました。

第Ⅱ編の「地質調査技術者について」では、「地質調査技術者の職務分野と資格制度」「地質調査技術者の技術者制度と教育システム」「技術者と倫理」について説明がなされ、技術者の資格制度では地質調査技士・地質情報管理士・応用地形判読士の概要説明と、トピックスとして「現場調査部門の受験資格の変遷」「地質調査技士登録者数の推移」が紹介されました。また、APECエンジニアについての概要説明と、土質・地質技術者生涯学習協議会による「CPDを活用した更新制度」の説明や、地質調査技術者の教育と訓練について、全地連のホームページに掲載のWEB学習や資料館の紹介がありました。

第Ⅲ編の「調査ボーリングの基本技術と安全・現場管理のレビュー」では、「ボーリング調査の役割」「現場管理」「調査ボーリングの運搬・仮設・撤収」「調査ボーリングの記録と報告」「サンプリング」「原位置試験および物理検層」等、ボーリング調査に関する基本技術・安全及び品質管理の目的・方法・留意点の再確認とともに、安全管理の取組み事例についての説明がありました。また、コラムとして「孔内事故（掘削障害）の原因」についての紹介がありました。

登録更新講習会の受講状況

第Ⅳ編の「調査ボーリングの周辺技術動向」では、「土壌汚染調査」「物理探査」「地盤材料試験」ついて説明がありました。土壌汚染調査では、土壌汚染対策法、有害物質に関する基礎知識、土壌・地下水汚染調査の進め方について説明がありました。物理探査では探査の種類および活用、物理探査の注意点の説明があり、地盤材料試験では試験の重要性、留意点、品質向上への取組みについて説明がありました。

本講習に用いたテキストと講習会で配布した資料は、最新の技術動向が反映されたものとなっております。地質調査技士としての技術の研鑽に引き続きご利用頂けるようお願いします。

ほぼ丸１日という長時間にわたる講習会が、受講者の皆様のご協力のおかげで無事に終えることができました。技術委員・事務局一同、心より感謝申し上げます。